

# かわさきかってに おもてなし大作戦

キックオフイベント  
開催しました!



## 市民参加型プロジェクト、始動！！

2020年の東京オリ・パラに向けて、川崎市では新しい市民参加型プロジェクトが始まりました！その名も「かわさきかってにおもてなし大作戦」。そのキックオフイベントとして、3月10日(土)に田中元子さんと山崎亮さんをゲストにお招きし、トークセッション&ミニワークショップを開催しました。

この日のキーワードは、「マイパブリック」。田中さんと山崎さんのレクチャーにはじまり、ご参加いただいたみなさんが楽しくはじめられるマイパブリックのアイデアを出し合いました。独創的で面白いアイデアを共有し、会場中が笑顔に包まれました。

## かわさきパラムーブメントとは



川崎市オリ・パラ  
推進室 原室長

市民参加で多様なつながりと気づきの機会をつくり、誰もが生活の中で感じる障壁を乗り越えるための全市的な取り組みです。2020年に向けて、みなさんのやってみたい活動を市が全面的に応援していきます。まちのいたるところで活動的なムーブメントを起こしましょう。

### 日時

2018年3月10日(土) 16:00~19:00

### 会場

川崎市役所第3庁舎1階ホール

### 参加者

50名

### プログラム

- ・はじめに
- ・かってにおもてなし大作戦とは
- ・ゲストレクチャー  
「マイパブリックの作り方」
- ・アイデアづくり
- ・トークセッション
- ・閉会





# マイパブリックの 始め方



● ゲスト  
田中 元子さん

建築コミュニケーター/ライター  
(株式会社グランドレベル 代表取締役)



● 進行  
山崎 亮さん

コミュニティデザイナー  
(株式会社 studio-L 代表取締役)



## ゲストレクチャー01



田中さん

### まちに居場所を

イギリスのオクスというまちは、お祭りやイベントがなくても、人が日常的にまちに出られるような設計がされていて、まちなかを楽しそうに歩く人が多くいます。**まちに居場所があるから、人は外に出られる**のです。

### It's my public !

ある時、どこにでも売っているような板で、事務所にバーカウンターを作りました。お酒が飲めないので、初めはノンアルコールバーをやって楽しもうと思っていたら、お酒を飲む人たちが集まってきました。「今日はいくら払えばいい?」と聞かれても、お金はもらいませんでした。それで損したと思ったことは一度もありません。**みんなのちょっとハッピーになる顔がみたいと続けていたことが、生まれて初めての趣味になっていることに気づきました。**無料にすることで、私が楽しめる「趣味」という領域を大事にしたかったのです。

そのうちに、**まちの中でやってみたい**と思うようになります。「屋台」を持ってまちに出たら自分が楽しいんじゃないか、まちを変えられるかもしれないと思い、稼ぐためのものではなく、「**パーソナル屋台**」と名付け、3つのルールを作って始めることにしました。

1. まちの「隙間」です
2. 自分でやりたいことをする
3. 無料です

最初の屋台は、バスタオル掛けとお盆を使って、3,800円で作りました。この屋台でコーヒーを振る舞うことにしましたが、なかなか人が来ませんでした。まず、まちの中に一人か二人いる好奇心おじさん(自分の好奇心を満たす何かないか探している)に話しかけられました。そこから徐々に人が集まるようになり、コーヒーを飲んでる人同士が仲良くなったりして、とても嬉しかったです。この状況を、自家製の公共、「**It's my public!**」だと思いました。

### まずは自分の手で

私のやっていることを不思議だと思われるかもしれませんが、「あなたの屋台を作ってみよう」というワークショップをやってみたら、とてもおもしろい活動が生まれました。たとえば…

- インド好きな人がチャイを振る舞う
  - 卸で買ったお花を道行く人に渡す
  - コンビニの中にDJブースを設置
- 場所を振る舞うこともマイパブリックです。何も振る舞えるものがなければ「あいさつ」を振る舞うということでもいいでしょう。多くの一人がマイパブリックというちょっとした活動を始め、それが広がっていったら、自分たちで楽しいことをやっていこうという**能動的なまち**になるんじゃないかと思います。**自分のまちづくりを、まずは自分の手で始めることで、おもしろいまちになる**でしょう。



## ゲストレクチャー02



山崎さん

studio-L を立ち上げる前の 2003 年から「マイパブリック」と呼ばれるような活動を行っていました。そもそもその活動がやりたくて、この仕事をはじめたのですが、おもしろそうだからということで、現在のまちづくりの仕事につながりました。それが「イワレ捏造技術開発機構」という名前の活動で、**100 年後 200 年後の子孫のために、イワレを作ろう**ということで始めました。

大阪の御堂筋にイチョウ並木があり、そのなかでも立派なイチョウにイワレをつけようということで、通る人に写真撮影をお願い

いし、葉っぱを持って写真に写ります。その葉っぱを財布に入れるといいことがあると伝える、といったことを実践しました。

このように、**おもしろい活動をみんながやり始めたら、まちがおもしろくなるのでは**という話を色々なところでしていたら、行政などから声がかかるようになり、仕事になっていきました。**儲かるまちづくりではなく、みんなでやったら楽しい、おもしろい、**ということ自体をコミュニティデザインと名付けて、全国各地でいろんなことをやっています。

## トークセッション



山崎さん

マイパブリックを楽しむコツはありますか？

コツは「まちのため、ひとのため」ということを考えないことです。超楽しい！と思うことを、まちに出てちょっとやってみるだけでいいのです。



田中さん

楽しいことが、本当の公共にちょっとずつ近づいていくという側面がありますね。パフォーマンスに対して他の人の反応があると、それに答えようとしますよね。

マイパブリックは、人に作られていくんです。

なるほど！自分のパブリックが人に作られていくんですね。

そうなんです、不思議ですよ！  
ほかにも、自分がウキウキするために、屋台を飾ることをおすすめします。センス自慢にならないよう、少しダサめにセクシーにデザインすることが大事です！

自分の気分を上げるということも大事なのですね。マイパブリック屋台などの活動を、「お金持ちの道楽ではないか？」と言う人がいますが、道楽でいいと思うのです。

マイパブリックを始めた当初、富の再分配という言葉がメディアで流行っていて、何を勘違いしたのか「再分配って楽しそう！お金は再分配できないけど、楽しいことなら再分配できる。」と思ったんです。

楽しさの再分配というのは、いいですね！

これできないんじゃないか、あれができないんじゃないかと、外に出る前に心配するのは早すぎます。あきらめず、楽しみましょう！





# マイパブリックの アイデア紹介

休日明けの月曜日。通学通勤途中で一生懸命にファンファーレを鳴らしている人を見かけたら、クスッと笑ってブルーな気分が吹き飛びそう！

トークセッションの後、参加者のみなさんにやってみてほしいマイパブリックのアイデアを①あなたが楽しくてふるまってみてほしいことは？ ②誰に？ ③どんな場所で？の内容で記入してもらいました。

①勝手に握手会  
(有名人になったつもりで)

笑い

②握手をしてくれる人 ③道路など

①ファンファーレ

笑い

②みんなに ③月曜日の出勤前

①モノマネ

笑い

②外国人 ③カラオケBOX

ハモれると嬉しいですよね！一人ではできないからこそハモって歌いたい人は多いはず。

①かんぱい

食

②初めて会った人 ③アルコールのあるあらゆる場所

もっとも多く出たアイデアが「笑い」に関するものでした。川崎のみなさんは、おもしろいことが大好きなんですね！

①スポーツ観戦で一緒に感動を味わう

運動

②多世代の人 ③電気屋さん

①ひだまり休憩所

健康

②疲れている人 ③緑ある場所ひなた

①机ひとつ分の古本市

文化芸術

②日本語の本が読める人 ③どこでも

①ハモります伴奏団

文化芸術

②スッキリしたい人 ③歌って迷惑にならない場所

最初は、2人でドッジボール…見かねて周りの人たちが参加してくれたら、シメたもの。知らない人とのドッジボールって、盛り上がりそう！

①ドッジボール

運動

②こども ③公園

①コミュニティダンス

文化芸術

②こども大人障害者、関係なく誰でも ③街のいたるところ



アイデアシートでドーナツウォールが完成！

## トントんちくちくさんによる デザインツール紹介

ドーナツをモチーフとして、トントんちくちくさんに作っていただいた、とってもかわいらしく、ユーモアのあるデザインツールをご紹介します。



▲オリンピックメダルを模した、ドーナツメダルをくじ引きする「かわさきかってに抽選会」

▼金銀銅のドーナツメダル



◀インスタ用フォトブース「かわさきかってに表彰台」

▼プロップス

